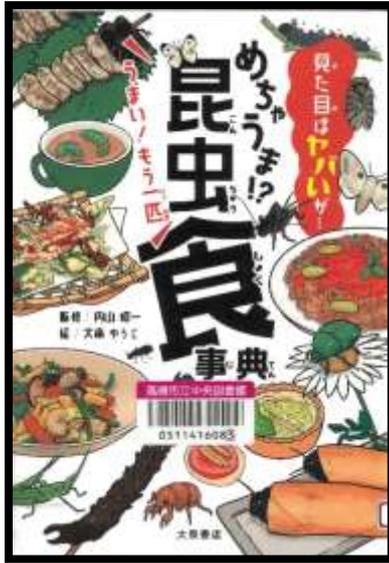


めちゃうま！？昆虫食事典

こんちゅうしょくじてん



うちやま しょういち / 監修

おおくし ゆうじ / 絵

大泉書店[383]

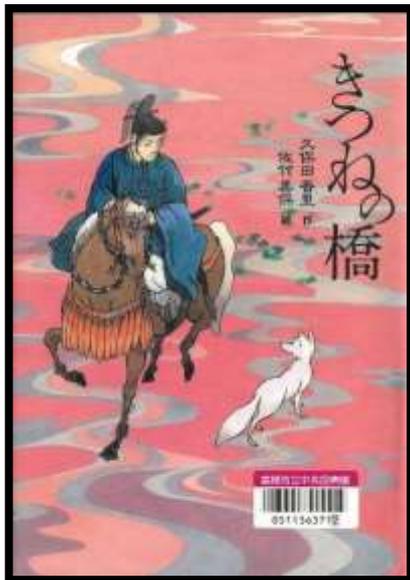
特集:とぶ

昆虫は栄養価が高く、将来人口増加や温暖化で食料が足りなくなったときに、昆虫を食べることが役に立つとして注目されています。

この本では、セミやバッタ、ハチ、コオロギなど身近な昆虫64種類について、それぞれの見た目や香り、食感、おいしさがグラフで表されています。

料理のイラストを見ながら、味と食感を想像してみてください。

きつねの橋



くぼた かおり / 作

きたけ みほ / 絵

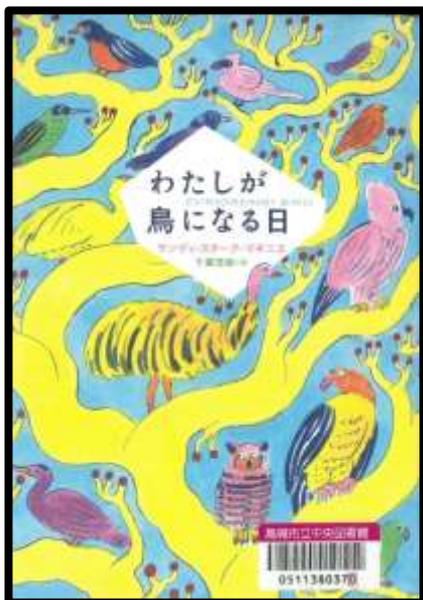
借成社[913クボ]

十五歳の貞道は、剣の腕前を頼りに京で名を上げようと、源頼光の郎等になる。

そんな貞道は他の郎等たちに、橋の上で人を化かすきつねを退治するように言われるが、化けきつねの葉月と出会い、困った時には互いに助け合うようになる。

平安時代の京都を舞台に、幼いころの藤原道長など実在の人物もまじえ、鬼や盗賊、姫君をめぐる貞道と葉月が奮闘する物語です。

わたしが鳥になる日



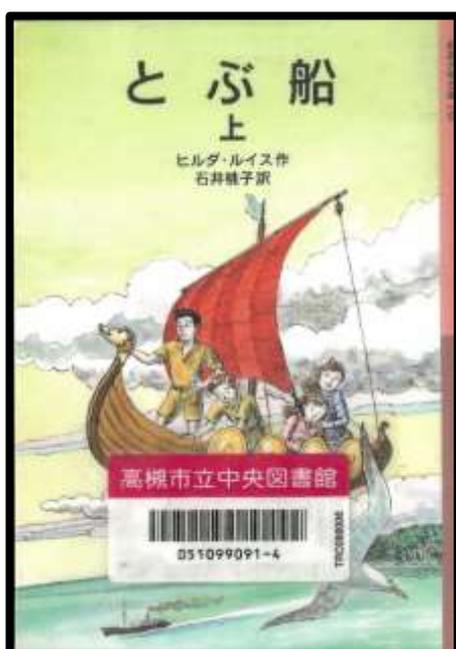
サンディ・スターク-マギニス/作
千葉 茂樹/訳
小学館[933スタ]

デセンバーは鳥が大好きな11歳の女の子。お母さんからもらった『鳥類完全ガイド 第1巻』をすみずみまで暗記している。里親の家を転々としながら、いつか自分の背中から翼が生えて飛び立てると信じています。

新しい里親のエリナーと暮らし始めたデセンバーは、エリナーがボランティアをする野生動物の保護センターで、傷ついたノスリの飛ぶ訓練をすることになります。

空を飛ぶたいと願う少女の切なくて希望にみちたお話です。

とぶ船 上・下



ヒルダ・ルイス/作
石井 桃子/訳
岩波書店[933ルイ]

ピーターは、ある日歯医者^{はいしや}の帰りに、うす暗い小さな店をみつけます。そこで手に入れた古い小さな船のおもちゃは、なんと驚いたことに魔法の「とぶ船」でした。

行きたい場所を心の中で願えば、船は大きくなったり、小さくなったり、ピーターたち4きょうだいを乗せて、望む場所へ連れて行ってくれます。

エジプトや、時代を超えて北欧神話の世界へと、4人の冒険旅行の物語です。